

都道府県名: 静岡県 団体名: 柿田川・東富士の地下水を守る連絡会

地域

柿田川・東富士の地下水を守る連絡会がご活躍されている静岡県富士山南東麓地域は、北西に富士山を望み、各所で富士山の伏流水が湧出しています。その湧水群の中心である柿田川は、沼津市と三島市間の清水町を流れ、東洋一の湧水量を誇ります。

柿田川にはミシマバイカモ、ヤマセミ、ホトケドジョウといった希少な生物が見られ、その生物多様性の素晴らしさから、昭和60年に環境庁の名水100選に選ばれ、本年5月20日には国の天然記念物に指定されています。

経緯

静岡県東部地域の35万人の貴重な水源である柿田川湧水等の減少を契機に、これらの「命の水」を育む富士山の豊かな森づくりを目的として、県東部の自然保護9団体により、平成8年8月に「柿田川・東富士の地下水を守る連絡会」が設立されました。

功績内容

柿田川の水源となる富士山涵養林の保全のため、平成8年9月の台風17号で被害を受けた標高1,100m前後の富士山東南麓の国有林7.2haに、林野庁静岡森林管理署、自治体、各種ボランティア団体等の協力のもと、毎年300人以上が参加して、ブナ、ヒメシャラ、ヒノキ等の苗木を植樹するとともに、継続的に落葉広葉樹の苗木を補植しています。

富士山のドングリを拾い、参加者がそれぞれ自宅で育て、その後苗場でさらに大きくする森づくりの学習を行っており、広域的な水環境保全意識の向上にも積極的に取り組む市民参加型の運動が、他の同様な植樹活動を行うボランティア団体の模範となっています。



活動範囲



富士山麓の植樹作業



苗場での根抜き作業



鹿食害防護柵の設置



森づくりの学習